

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

平成29年3月10日

計画の名称	10 J R能登川駅周辺地域の防災・安全の向上とターミナル機能の強化（防災・安全）				重点配分対象の該当
計画の期間	平成28年度～平成32年度（5年間）	交付対象	東近江市		
計画の目標					

J R能登川駅の東西を結ぶ街路および駅へのアクセス道路を整備することにより、緊急輸送路の確保と通行車両の分散化および緊急車両の到着時間の短縮を図る。
また、都市計画決定済みのJR能登川駅東口の駅前広場およびアクセス道路を整備することにより、JR能登川駅東側市街地の防災性・安全性の向上と駅への交通アクセスの適切な確保を図る。
これにより駅周辺市街地の安全で安心なまちづくりを進める。

計画の成果目標（定量的指標）

- 能登川消防署からJ R能登川駅東口市街地への緊急車到着平均時間を幹線道路整備前（平成23年度）と比較して40秒短縮する。
- JR能登川駅東口のアクセス安全性・利便性を高めることにより、同駅の乗降客数の減少を阻止する。（人口減少の中で、将来的に鉄道利用者数を維持する。）

定量的指標の定義及び算定式

能登川消防署からJ R能登川駅東口市街地への緊急車両の到着時間を測定し平均する。

J R能登川駅の年平均乗客数を計測する。（人/日）

定量的指標の現況値及び目標値

当初現況値 中間目標値 最終目標値

(H28当初) (H30末) (H32末)

0秒 — -40秒

6,955人/日 — 6,955人/日

備考

東近江市国土強靱化地域計画に基づき実施される

要素事業：A1-1～A1-4

東近江市定住自立圏共生ビジョンに基づき実施される

要素事業：A1-1～A1-4

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	3,146 百万円	A	3,092 百万円	B	10 百万円	C	44 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	1.4%
-------	--------------	-----------	---	-----------	---	--------	---	--------	---	-------	--------------------------	------

交付対象事業

A1 道路事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考
											H28	H29	H30	H31	H32				
10-A1-1	街路	一般	東近江市	直接	—	街路	改築	(都) 中学校線 垣見工区	鉄道交差隧道改良 L=0.22km	東近江市					315	—	—		
10-A1-2	道路	一般	東近江市	直接	—	道路	改築	市道能登川北部線 佐生工区	道路改良 L=0.33km	東近江市					0	—	—		
10-A1-3	街路	一般	東近江市	直接	—	街路	改築	東口駅前広場	駅前広場整備A=3,222㎡	東近江市					1,096		—		
10-A1-4	街路	一般	東近江市	直接	—	街路	改築	(都) J R東口線	道路改良 L=0.47km	東近江市					1,509		—		
10-A1-5	道路	一般	東近江市	直接	—	道路	改築	市道猪子2号線	道路改良 L=0.12km	東近江市					26		—		
10-A1-6	道路	一般	東近江市	直接	—	道路	改築	(仮称)本町7号線	道路改良 L=0.1km	東近江市					71		—		
10-A1-7	道路	一般	東近江市	直接	—	道路	舗装	市道本町1号線	道路改良 L=0.2km	東近江市					24		—		
10-A1-8	道路	一般	東近江市	直接	—	道路	舗装	市道山路・本町線	道路改良 L=0.2km	東近江市					24		—		
10-A1-9	道路	一般	東近江市	直接	—	道路	舗装	市道本町5号線	道路改良 L=0.17km	東近江市					27		—		
小計（道路事業）											3,092								

B 関連社会資本整備事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考
											H28	H29	H30	H31	H32				
10-B1-1	その他	一般	滋賀県	直接	—			信号機設置	信号機設置	東近江市					10	—	—		
小計											10								

番号 一体的に実施することにより期待される効果
10-B1-1 (都) J R東口線整備にあわせて、主要交差点に信号機を設置することにより、交通の円滑化と安全性確保を図る。

C 効果促進事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考		
										H28	H29	H30	H31	H32				
10-C1-1	その他	一般	東近江市	直接	—			シェルター設置	シェルター設置 L=0.064km	東近江市					44			
小計											44							

番号 一体的に実施することにより期待される効果
10-C1-1 10-A1-3東口駅前広場整備の整備にあわせて、バス・タクシーの乗降シェルターを確保することにより、駅前広場の利便性・安全性の向上を図る。

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考
									H28	H29	H30	H31	H32		
合計											0				

番号 一体的に実施することにより期待される効果

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

平成29年3月10日

計画の名称	10 JR能登川駅周辺地域の防災・安全の向上とターミナル機能の強化（防災・安全）			重点配分対象の該当
計画の期間	平成28年度～平成32年度（5年間）	交付対象	東近江市	
計画の目標	JR能登川駅の東西を結ぶ街路および駅へのアクセス道路を整備することにより、緊急輸送路の確保と通行車両の分散化および緊急車両の到着時間の短縮を図る。 また、都市計画決定済みのJR能登川駅東口の駅前広場およびアクセス道路を整備することにより、JR能登川駅東側市街地の防災性・安全性の向上と駅への交通アクセスの適切な確保を図る。 これにより駅周辺市街の安全で安心なまちづくりを進める。			

交付金の執行状況

（単位：百万円）

	H28	H29	H30	H31	H32
配分額 (a)	175.1				
計画別流用 増△減額 (b)	0.0				
交付額 (c=a+b)	175.1				
前年度からの繰越額 (d)					
支払済額 (e)	175.1				
翌年度繰越額 (f)	0.0				
うち未契約繰越額 (g)	0.0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0.0				
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%				
未契約繰越＋不用率が10%を超えている場合その理由	-				

※ 平成28年度は、決算額が確定でき次第記載。

(参考図面)

計画の名称	J R能登川駅周辺地域の防災・安全の向上とターミナル機能の強化 (防災・安全)		
計画の期間	平成28年度 ~ 平成32年度 (5年間)	交付対象	東近江市

